

新型コロナワクチン接種と乳がん検診受診との間隔について

日本乳癌検診学会から「乳がん検診にあたっての新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応の手引き」 <http://www.jabcs.jp/images/covid-guide202106.pdf> が示され、乳がん検診受診は「ワクチン接種前に施行するか、2回目ワクチン接種後少なくとも6～10週間の間隔をおいてから施行すること」が推奨されています。したがって当院でも「リンパ節が腫れているため、何か病気があるのではないか」という間違っただ判定が起きないように、「できるだけ接種前あるいは2回目のワクチン接種後6週間以上たってからの実施」を推奨させていただきます。

なお、その時期は絶対に検診を受けてはいけないということではありません。その時期でないと受けられないようなご事情がある場合には、「〇〇日前にコロナワクチンを接種した」とお伝えください。ワクチン接種後であることを考慮して判断させていただきます。不明点等がございましたら担当者にお尋ねください。

聖霊病院 放射線技術科